

議案第54号  
令和2年度宝塚市一般会計補正予算（第3号）

資料4 GIGA スクール構想について

1 GIGA スクール構想について

別紙1「GIGA スクール構想について」参照

2 GIGA スクール構想における6月補正額及び全体枠組みの財源構成について

(1) GIGA スクール用端末経費について

- ・GIGA スクール用端末購入費用等の総額（17,420台分、944,442,382円）に、市が定めるリース料率を乗じて得られた年額のリース料は下記のとおり（なお、購入費用の総額の算定に当たっては、購入した場合の国庫補助の対象となる11,622台分、475,444,398円を減じて得られた金額を用いている。）。

○リース料（年額）……236,860,800円

- ・リース契約の支払い開始日を令和3年3月31日としているため、令和2年度内で対象となる1日（3月31日）分のリース利用料は下記のとおり

○リース料（1日分）……649,000円（千円未満切り上げ）

- ・GIGA スクール用端末の総額は下記のとおり。

年度	金額	備考
令和2年度（1日分）	649,000	6月補正要求分
令和3年度～令和7年度	1,183,655,000	債務負担行為額
合計（※）	1,184,304,000	

- ・なお、リース料の積算の時点で国庫補助対象分（11,622台分）を減じて得た費用を用いているため、そこから更なる国庫等による補助はなく、上記（※）については全て市費での対応となる。

(2) 今後発生する経費について

GIGA スクール用端末を利用していくにあたり、各小・中学校における回線の設定経費、ドリル教材等のコンテンツ導入経費については、臨時交付金の活用を予定している。また、上記経費とは別途、各小・中学校における通信費、導入端末の保守・運用費用が発生する。

# GIGAスクール構想について

宝塚市教育委員会  
学校教育部 教育研究課

# 1 GIGAスクール構想の概要（文部科学省資料より）

## G I G Aスクール構想の実現

令和元年度補正予算額 2,318億円  
公立:2,173億円、私立:119億円、国立:26億円

(文部科学省所管)

- Society 5.0時代を生きる子供たちにとって、教育におけるICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められる一方で、現在の学校ICT環境の整備は遅れており、自治体間の格差も大きい。令和時代のスタンダードな学校像として、全国一律のICT環境整備が急務。
- このため、1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するとともに、並行してクラウド活用推進、ICT機器の整備調達体制の構築、利活用優良事例の普及、利活用のPDCAサイクル徹底等を進めることで、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる。

### 事業概要

#### (1) 校内通信ネットワークの整備

- 希望する全ての小・中・特支・高等学校等における校内LANを整備加えて、小・中・特支等に電源キャビネットを整備

### 事業スキーム

- 公立 補助対象：都道府県、政令市、その他市区町村  
補助割合：1/2 ※市町村は都道府県を通じて国に申請
- 私立 補助対象：学校法人、補助割合：1/2
- 国立 補助対象：国立大学法人、(独)国立高等専門学校機構  
補助割合：定額

### 事業概要

#### (2) 児童生徒1人1台端末の整備

- 国公立の小・中・特支等の児童生徒が使用するPC端末を整備

### 事業スキーム

- 公立 補助対象：都道府県、政令市、その他市区町村等  
補助割合：定額（上限4.5万円）※市町村は都道府県を通じて国に申請
- 私立 補助対象：学校法人、補助割合：1/2（上限4.5万円）
- 国立 補助対象：国立大学法人  
補助割合：定額（上限4.5万円）

### 措置要件

- ✓ 「1人1台環境」におけるICT活用計画、さらにその達成状況を踏まえた教員スキル向上などのフォローアップ計画
- ✓ 効果的・効率的整備のため、国が提示する標準仕様書に基づく、都道府県単位を基本とした広域・大規模調達計画
- ✓ 高速大容量回線の接続が可能な環境にあることを前提とした校内LAN整備計画、あるいはランニングコストの確保を踏まえたLTE活用計画
- ✓ 現行の「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）」に基づく、地方財政措置を活用した「端末3クラスに1クラス分の配備」計画



※ 支援メニュー (① 校内LAN整備+端末整備、② 端末独自整備を前提とした校内LAN整備、③ LTE通信費等独自確保を前提とした端末整備)

## 2 GIGAスクール構想のポイント

これからの時代を生きる子どもたちのために、教育におけるICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められること

多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを持続的に実現すること



さらに、新型コロナ対策による長期の休校要請を受けて・・・

すべての児童生徒が自宅でも学習できる環境を整備すること

### 3 タブレット端末の活用

#### ICT機器を有効活用 するための取組

全児童に端末を貸し出し 学習教材コンテンツ等を効果的に活用しながら指導を実施。

#### オンラインによる地域 とのつながり作り

小学校3年社会科の学習で地域の方へのインタビュー等をオンラインにより実施するなど、これまで現地に行かなければできなかったことが学校にしながら実施。

## 家庭の通信環境に 依存しない取組

オフライン環境下においてもタブレット端末を使用できるように、タブレット端末にデータをダウンロードし、学習教材を配布。

## オンラインによる 学校間の交流

同じ宝塚市内に通う、児童生徒がオンラインでつながり、小・中接続をスムーズに。

また、それぞれの学校を紹介するなど友達の輪を広げるきっかけへ。

# ステップ1 “すぐにでも” “どの教科でも” “誰でも” 活かせる1人1台端末

## 例えば...

### 🌱 検索サイトを活用した調べ学習

- 一人一人が情報を検索し、新聞記事や動画等を収集・整理する
- 子供たち自身が、アクセスした様々な情報の真偽を確認・判断する



### 🌱 文章作成ソフト、プレゼンソフトの利用

- 子供たち一人一人が自分自身の考えをまとめて共有する
- 共同編集で、リアルタイムで考えを共有しながら学び合う

### 🌱 一斉学習の場面での活用

- 定理や史実等のイメージを持ちやすくなるデジタル教材を提示する
- 一人一人の反応や考えを即時に把握しながら、双方向的に授業を進める



### 🌱 一人一人の学習状況に応じた個別学習

- 学習者用デジタル教材を活用し、一人一人の学習進捗状況を可視化する
- 特別な支援を必要とするなど様々な特徴を持った子供たちに対して、よりきめ細やかな対応を行う



## ステップ2：教科の学びを深める。教科の学びの本質に迫る。

例えば...

### 🌱 国語

書く過程を記録し、よりよい文章作成に役立てる

- ・文章作成ソフトで文章を書き、コメント機能等を用いて助言し合う
- ・文章作成ソフトの校閲機能を用いて推敲し、データを共有する



### 🌱 理科

観察、実験を行い、動画等を使ってより深く分析・考察する

- ・観察、実験を動画等で記録することで、現象を科学的に分析し、考察を深める
- ・観察、実験のレポートやプレゼンテーション資料などを、写真やグラフを挿入するなどして、一人一人が主体的に作成する



### 🌱 外国語

海外とつながる「本物のコミュニケーション」により、児童生徒の発信力を高める

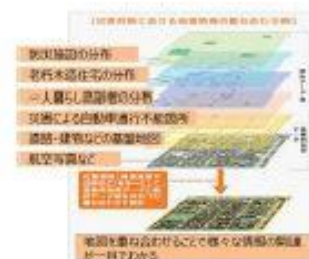
- ・一人一人が海外の児童生徒とつながり、英語で交流・議論を行う
- ・ライティングの自動添削機能やスピーキングの音声認識機能を使い、児童生徒のアウトプットの質と量を大幅に高める



### 🌱 社会

国内外のデータを加工して可視化したり、地図情報に統合したりして、深く分析する

- ・各自で収集したデータや地図を重ね合わせ、情報を読み取る
- ・分析した情報を、プレゼンソフトでわかりやすく加工して発表する

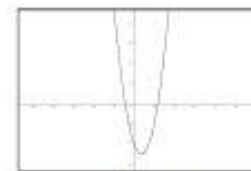


(国土交通省HPより引用)

### 🌱 算数・数学

関数や図形などの変化の様子を可視化して、繰り返し試行錯誤する

- ・画面上に表示した二次関数のグラフについて、式の値を変化させて動かしながら、二次関数の特徴を考察する
- ・正多角形の基本的な性質をもとに、プログラミングを通して正多角形の作図を行う



(二次関数の特徴を考察)